

## 秋元市長の政治姿勢ただす

### 「泊再稼働はやめるよう表明すべき」

——中止を求める意思しめさず

第4回定例会の代表質問で、「胆振東部地震の教訓からも、泊原発の再稼働はやめるよう市長の立場から表明すべき」とただしました。

秋元市長は、「原子力規制委員会の審査を注視したい」とのべるだけで、中止を求める意思は示しませんでした。

## 世界の流れは小規模校

### 画一的な統廃合の押し付けやめよ！

——「学校統廃合問題を考えるつどい」ひらく

小規模校では「社会性が育たない」と小中学校の統廃合をすすめる札幌市。しかし、その根拠はなく、「コスト削減」がねらいです。ゆきとどいた教育へ、小規模校・少人数学級が世界の流れです。



報告を行う小形幹事長

## 学校は災害時など避難所の役割も



要望書を受けとる村上団長

### 公契約条例の制定を

——「求める会」が要請

札幌市公契約条例の制定を求める会が共産党控室に要請。

市発注の仕事から官製ワーキングプアをなくし、賃上げの流れを広げましょう。

**日本共産党**

日本共産党札幌市議会議員団のホームページをぜひご覧ください。



## 秋元市長に新年度予算要望

実効性のある福祉避難所、燃油の高騰対策など、104項目を要望しました。

市長に要望書を手渡す村上団長と共産党市議ら。

# 子ども医療費の無償化 中学卒業まで！

子どもの貧困  
対策に予算を

市の調査でも子育て世帯の6割以上が“生活が苦しい”と回答しています。子ども医療費無償化の拡大や就学援助の拡充、学校給食の無償化をくり返し求めています。

## 福祉灯油 で冬を暖かく——市議団が市に要請



灯油高騰のなか、生活に困窮する世帯に福祉灯油（灯油代への補助）の実施を要請しました。

発行／日本共産党札幌市議会議員団事務局  
札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所内  
TEL011-211-3221 FAX011-218-5124

さっぽろ  
市政だより

2019年2・3月号

日本共産党

# 大切な税金は **ムダな道路建設ではなく** 医療・福祉・介護・子育て支援に



秋元市長は、創成川通にトンネルや高架橋で新たな道路を作る計画です。札幌新道から都心までのわずか約4kmで、建設費は1000億円（市の負担約200億円）を超えます。

1000億円超の  
都心アクセス  
道路NO!



子ども医療費を中学卒業まで無料 **36億円**  
 国保料を1世帯1万円引き下げ **27億円**  
 小中学校の学校給食費無償化 **72億円**  
 パートナーシップ排雪を地域負担ゼロ **9億円**

**合計144億円**で可能

## 被災者 支援

9割超が一部損壊、市の独自支援を  
“がれき”撤去費用の償還払い実現

甚大な被害をうけた清田区では、96%が支援の対象からはずれる一部損壊で、独自の支援策を講じるよう粘り強く求めています。また、“民有地は対象外”という市を動かす、崩れたブロック塀など“がれき”の撤去費用を償還払いさせることができました。



## 就学 援助

入学準備金はせめて入学前に支給を  
小中学生とも3月支給が実現

議会でくり返し求め、中学生に続いてついに小学生でも3月支給を実現することができました。



## 保育

“隠れ待機児童”1900人の解消待ったなし  
保育士の処遇改善と保育の質の確保を

“ビルの一室ではなく、園庭のある保育所の整備で待機児童解消を”“就学前まで同じ保育所に預けたい”“保育士の処遇改善を”——この願いを取り上げ、実現を求めています。



## 排除雪

地域の負担が増え続け、もう限界  
パートナーシップ排雪は市の負担で

「町内会費のほとんどが消えてしまう」——市民の実情を訴え、道路管理者として本市の負担で生活道路の除排雪を行うべきと求めました。



9条改憲を許さず、憲法を市政に生かします。 **日本共産党**